

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 平尾繁和

山名	二上山		山行名	石光寺から二上山		
ルート	当麻寺駅～石光寺～岩屋峠～雌岳～雄岳～ダイトレ北口～屯鶴峯～二上駅					
山行日	2015年12月20日(日)		天候	快晴		
参加者	リーダー：平尾 サブリーダー：広瀬 男性：小川・中島・西川・三宅 女性：伊藤・上杉・吉澤(一般) 合計：9名					
ルート概略図 別添	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	新田辺駅	集	7:50	雄岳	着	12:25
		発	8:05		発	12:50
	当麻寺駅	着	9:15	ダイヤモンドトレイル北口	着	14:15
		発	9:25		発	14:20
	石光寺	着	10:05	屯鶴峯	着	14:40
		発	10:30		発	14:50
	岩屋峠	着	11:25	二上駅	着	15:30
発		11:30	発		15:41	
雌岳	着	11:45		着		
	発	12:15		発		
山行報告 当麻寺駅でコース説明の後、蹴速塚(相撲館前)まで歩く。そばの空き地で体操をしてから当麻寺の参道に行く。南大門をくぐると正面に二上山が見える。暖冬のせいか塔頭のロウバイは見頃に。北門を抜け集落のあいだをのんびり歩き、石光寺で30分ほど境内を散策。菰を被った寒ボタンや寒アヤメが咲いていた。お堂の前には鉢植えで真紅の冬ボタンがあり目を楽しませてくれた。しばらく舗装路を歩き、左に傘堂を見て大池に着く。ここで衣服調整。池にはカモがいた。祐泉寺の前を直進せず左へすすみ、スギ林の登りにかかりしばらく歩いて岩屋峠につく。休憩後、右手に入りジグザグに登り予定より早く雌岳につく。山頂・二上山万葉の森からは大和三山はじめ奈良盆地を前に南には葛城山など良い展望。昼食休憩後、集合写真を撮り雄岳に向かう。葛城坐二上山神社、大津皇子の墓を見て下山。ダイヤモンドトレイルを北へ向かう。コナラなどの落葉の道を日だまりハイク。緑の鉄塔の手前から左手に泉南方面から生駒山まで大阪平野が前に大きく開けると、アベノハルカスの位置をめぐってやりとりなどもして展望を楽しむ。尾根筋をひたすら下り第二鉄塔で小休止、後方に二上山を眺める。何か所か高低差のある木の階段に落葉が積り少し手ごわいところを通りながらダイトレ北口にでる。ここからは国道を歩く。初めての人もいたので屯鶴峯へ立ち寄り、入口付近を少し登り、近畿自然歩道となっている国道を歩き、途中から田圃の畦をとおり川沿いの道に入り二上駅で無事解散。						
ヒヤリハット なし						



二上山 一口感想

○霜と氷の寒い朝でしたが、小春日和の気持ちのいい一日となりました。冬枯れの山道で、カサカサと落ち葉を踏んで歩く心地よさ。すっかり葉を落としてしまった木立の間から日が差し込んで、明るいこと。空気も澄んで、見晴らしもいい。尾根道の東側には奈良、西側には大阪が見えて、あれがハルカスのビルだと教えてもらいました。行きに立ち寄った石光寺に咲き残った寒牡丹の鮮やかな深紅やピンク、寒咲きアヤメの薄青色、道端でおじさんが配ってくれたみかんの色、登山道に咲きこぼれるサザンカ、どんづる峰の白い岩肌。冬の山行がこんなに色鮮やかだなんて思っていませんでした。二上山は初めてでしたが、2015年最後の山も楽しく終わられました。お世話になった皆さま、ありがとうございました、そして来年もよろしく申し上げます。(伊藤多恵子)

○私にとって今年最後の山行。文字通り傘に似た形の傘堂を左手にチラッと見て大池に出る。大池から雄岳、雌岳の双耳峰が優しい形に見える。低山とはいえお天気が良かったためもあり雌岳に着くころには汗ビショリ、筈のように一枚一枚上着を脱ぎながら登った。雌岳頂上は休憩にぴったりの明るくまああるい広場があった。気持ちの良い昼食タイム。下山開始。屯鶴峯にも行った。私は初めてで奇岩・奇石で珍しく思った。まだまだここはほんの一部とのこと。道の途中で買った1パック¥100のみかんが丁度良い栄養補給源になった。あー楽しかった。(上杉 郁子)

○今回はボッカトレーニング(12月23日予定)の練習を兼ね12kgの負荷をかけ、参加させて頂きましたが、皆に付いて行くのがやっとでした。しかし天気は最高でしたので楽しい山行ができました。有難うございました。(小川 弘二)

○当麻寺から二上山へ登るのも久しぶりのコースで、正月スキーのトレーニングにもなると思っで参加した。石光寺の牡丹は開花の時期と違ったのでだめだったが、一つのポイントとしては良かったのではないと思う。登る途中はあまり人にあわなかったのだが、二上山に上って多くの登山者にびっくりした。家族ずれには丁度よいコースらしい。下山して屯鶴峯に寄ったが初めて来た人には物足らなかったかもしれない。(中島 貞夫)

○2015年最後の例会。二上山登山に参加。

天気は最高。当麻寺の参道をのんびりと散策し、石光時の寒牡丹を鑑賞。ほとんど牡丹の花が摘まれており、あやめが少し咲きかけという、端境期であったことが心残りであった。牡丹の満開時はさぞかし華やかであったろうと思われた。

去年は屯鶴峰からの登山であったが、当麻寺からの登山がはるかに楽である。雌岳、雄岳で大津皇子陵などを参拝して、ダイヤモンドトレイル北入口に向かう。下りだが、アップダウンがあり、上りより体力を消耗した。おまけに当初帰りの駅は二上山駅の予定であったが、電車料金が30円安くなるということで二上駅に変更。久しぶりの山行にバテバテ。帰りの王将のビールは最高でした。(広瀬 秀憲)

○近鉄南大阪線當麻寺駅に降り立ち、二上山の麓の當麻寺の境内に入り、次に中将姫ゆかりの名刹石光寺を鑑賞し寒牡丹に感動して街並みを戻って雌岳をめざす、途中大池の左手に左甚五郎作の傘堂があり、なんと一本柱の珍しい建物に驚く、さらに山道をつめて岩屋峠に達し、沢を渡るといよいよ登山道らしくなり丸太の階段をつめて雌岳頂上となる。山頂からの眺望は360度の大展望だ、さらに鞍部をすぎて葛木坐二上神社と大津皇子の墓のある雄岳に登る、その後屯鶴峯に立ち寄り、近鉄で帰宅、今日は雲ひとつないよい天気恵まれ参加者も意気投合して大変楽しい登山でした。
(三宅 武)

○今日はお試しの2回目となる山行に参加させていただきありがとうございました。地図の読み方や団体での歩き方、山でのマナー等初めてのことや馴れないことばかりでしたが皆様に親切に教えていただき勉強になりました。又、休憩を度々はさんでいただいたので楽に歩いてよかったです。初めて見る寒ぼたんの艶姿(時期は残念でしたが)すごく印象的でした。下りのダイヤモンドトレイルは階段がうんざりする程ありましたが、枯葉が午後の太陽に光ってとてもきれいだったので楽しんで歩けました。無事に終えた事を感謝致します。
(吉澤 珠美)



<参考>

二上山をめぐる名所など

1 「蹴速座」當麻町相撲館・蹴速塚

当地出身の當麻たいまの蹴速けはやと出雲の野見のみの宿禰すくねが天皇の前で相撲を取り、それが日本で初めての天覧相撲といわれる（日本書紀）五輪の石塔の蹴速塚はその蹴速の墓。相撲館には、原寸大の本場所の土俵があり、相撲の歴史や力士に関する資料が展示されている。

2 當麻寺

天平12年（612）當麻皇子が二上山麓に創建した禅林寺が692年に現在地に移されたとされる。本堂、東塔・西塔（国宝）をはじめ多くの国宝・重要文化財の建物・仏像などがある。一夜にして蓮糸により當麻曼荼羅（本尊、国宝）を織り上げた中将姫伝説で知られる。

3 石光寺

天智天皇の勅願寺で、夜な夜な光を放つ三大石があり、これで弥勒三尊の仏像をつくらせ本尊にした由来がある。中将姫が井戸で蓮糸を洗い五色に染め、桜の木にかけ乾かしたとされる染の井、糸かけ桜が知られる。

寒牡丹と冬牡丹の違い。寒牡丹は春と秋に花をつける二季咲きの変種で、春の蕾は摘みとり、秋の蕾のみ残り10月下旬から1月にかけて開花させたもの。冬牡丹は春牡丹と同じ品種を1・2月に咲くように手間をかけ調整したもので放置すると春咲きに戻る。

4 傘堂

真柱一本で方形造の本瓦葺き屋根を支える独特の姿の珍しい建物。江戸時代に当地を領していた郡山藩主本田政勝の没後、1674年に菩提を弔うため「影堂」として建てられたもの。真柱を巡り安楽往生を願い信仰の対象となっている。奈良県指定有形民俗文化財に指定。

5 岩屋峠

奈良時代に作られた石窟寺院跡が、中将姫が籠ったという岩屋。そばには樹齢千年という岩屋スギがあるという。

6 二上山（雌岳474.2m、雄岳517.2m）

瀬戸内火山帯に属す古い死火山。雄岳山頂に、天武天皇の子で謀反の罪を着せられ24歳で自害した大津皇子の墓がある。

7 ダイヤモンドトレイル

1968年、金剛生駒国定公園利用計画に基づいて大阪府と奈良県が整備した全長45kmの長距離自然歩道。屯鶴峯（奈良県香芝市）から槇尾山（大阪府和泉市）まで奈良・大阪・和歌山県境を走る。

8 屯鶴峯

二上山の火山岩層が水底に沈積し凝灰岩となり、隆起と風化・水食してできた奇岩・奇石で天然記念物に指定。